



城崎・豊岡・但馬の魅力 外国人観光客に英語で発信

豊岡には、大都市に比べ大企業はありませんし、所得格差もありますが、世界最先端の仕事、人の役に立つ仕事、そして、やりがいのある仕事がたくさんあります。

豊岡は、かばんの出荷額が日本一のまちです。現在、「世界を感動させる豊岡ブランド」を合言葉に、オリジナル商品の研究・開発に業界一丸となって取り組んでいます。城崎温泉を中心に、外国人宿泊客数も急増中です。世界にも通じる城崎温泉を核に、豊岡全体でインバウンドを推進しています。

東京スカイツリーの制振装置やH2Bロケットのバネ、世界初の技術で超軽量・超高剛性なレース用オートバイのホイール、世界の有名ファッションブランドにも採用される国内唯一の高級木製ハンガーを作る企業など、最先端の技術で世界と勝負している企業もあります。

環境と経済の両立が相反すると考えられている中、豊岡では利益を追求する事業で環境が改善されるものを「環境経済事業」として市独自に認定しています。太陽電池を造り地球温暖化防止に貢献、コウノトリ育む農法で作った米で菓子を製造・販売、かばん材料の端材を利用した製品を製造する企業など、現在67社が認定されています(10月末現在)。

豊岡の有効求人倍率は1.40倍です(9月末現在)。「豊岡には仕事がない」のではなく「豊岡には働き手が足りない」のが現実です。

豊岡には
やりがいのある仕事がある

豊岡で働く

大学で英語を学びましたが、地元で英語を生かせる仕事があることを知らなかったため、Uターンするつもりはありませんでした。

就職活動を始めたころ、城崎に外国人観光客も対象にした観光案内所SOZOROがオープンすることを知り、「英語が生かせる」と思い、Uターンを決めました。

2月には、シンガポールでのイベントに参加しました。城崎の魅力と交通手段を英語でPRしたところ、来場者は温泉や浴衣に、強い興味を示しました。いろいろな職種で、地元で英語のできる人材が必要だと感じました。

城崎は小さなまちですが、世界が目をつけている誇れるふるさとです。今は、ツアーの企画や添乗業務などを勉強しており、いつかは、観光案内所で城崎の魅力を英語で発信したいです。

旅客業

城崎町湯島生まれ。地元の高校を卒業後、2年間、大阪府枚方市にある外国語大学短期大学部英米語学科で英語を学ぶ。短大を卒業後は、英語を生かした仕事を求職。昨年度から、JR城崎温泉駅前で、外国人を含む全てのお客さまに多彩なサービスを提供するための観光案内所を運営する全但バス(株)に入社する

たかきまなえ
高木愛恵さん(21)





環境に優しい米作りで 日本一の食味を実現



米作りを本格的に始めて8年目になります。いろいろなコンクールで食味を認めてもらえ、米作りに自信を持てるようになってきました。

5年前からコウノトリ育む農法に取り組んでいます。環境に優しい米作りのために始めましたが、私にとつては、慣行農法より作業性(効率)が良いことが分かり、今では私が栽培する全ての水田がこの農法です。不思議ですが、この安全・安心な米作りには米が応えてくれます。茎が太く育ち、粒が大きくなり、そして、食味が良くなっていることを実感します。田んぼで育まれたたくさんの命が、米に力を与えてくれているのかもしれない。

この農法で生産した米は、市場価値が高いため、経営の安定にもつながります。地域にこの農法が広まることに、貢献していきたいです。

日高町山田生まれ。地元の農業高校を卒業後、造園会社に就職する傍ら、父の米作りを手伝う。34歳で造園会社を退職し、専業農家に。平成28年「第18回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」にコウノトリ育む農法無農薬栽培のコシヒカリで挑み、国際総合部門で金賞を受賞する

専業農家

あおやまなおよ
青山直也さん(41)



かばんのまちで 誇れる職人に

職人の両親を見て育ち、ハンドメイドの物づくりが好きになりました。ある日、テレビでアルチザンスクールが取り上げられていて、そのかばん職人の技に「これだ！」と直感的に思いました。

スクールでは、かばんの見えないところに施された職人の心遣いも学ぶことができ、作り手の思いを込められるハンドメイドの良さを再認識しました。

豊岡は、かばん作りには最高のまちです。かばん作りに必要なミシンや金具などの会社がコンパクトに収まっているだけでなく、この業界の巨匠と呼ばれる方や経験豊かな職人が身近におられ、困ったときは気軽に相談もできます。

お客さまに寄り添ったかばん作りで、お客さまが長く使いたいと思えるかばんを、誇りを持って世に出していきたいです。

かばん職人

さいとう こはる
斎藤小春さん(21)

山梨県生まれ。地元の高校を卒業後、デンマークでWWOOFの農業体験。その後、同国の短期専門学校でデザイン・手工芸を学ぶ。帰国後、トヨタカバン アルチザン スクールで1年間かばん作りを学び、本年度から市内のかばん製造・販売会社コニー様に入社する

